

私たちの地球は、豊かな包容力でさまざまな生物を育み、また人類の広範かつ活発な活動を支えてきてくれました。しかし近年の人類の活動は、地球の包容力の限界を超え、多くの生物との共存はおろか、私たち人類の存続さえも危うくしています。将来の世代に豊かな地球を受け渡すために、私たちは、それぞれの活動を環境負荷の少ないものに変えていかなければなりません。そのためには、国・企業・市民団体・個人などすべての地球市民が、自らの活動が環境に与えている負荷を知り、積極的にその削減に努めていく必要があります。そして、お互いが示唆しあい、協力しあうことも重要です。

私たちリコーグループは、地球市民の一員として、かけがえのない地球を守ることを企業使命と考え、環境保全を経営の重要な柱の一つに据えています。具体的には、お客様にご利用いただく製品を通じて環境負荷の削減に貢献するとともに、開発・生産・販売・サービス・回収・リサイクルなどすべての企業活動における環境負荷を削減していきます。これらの活動の成果を把握し、経営に反映させるために、環境会計を自ら積極的に開発、活用することにより、環境経営を確立することに取り組んでいます。

21世紀に、社会から存続を望まれるためには、環境・経済・社会性のすべての面に積極的に取り組み、その成果を出している企業であることが条件になります。私たちは、規制などに対応してきた「環境対応」の時代から、自発的に高い目標に向かって活動する「環境保全」の時代を超え、環境保全活動の経済価値を増大させる「環境経営」の実現を目指しています。また、社会への情報開示や積極的なコミュニケーション、地域や市民団体と一体化した環境社会貢献活動を世界各地で展開していくことも大切だと考えています。これらの活動を通して、私たちは、人類社会の存続に不可欠である、グローバルな「循環型社会」の実現に貢献していきます。

この2001年版報告書には、リコーグループの2000年度におけるグローバルな環境活動の内容と成果をまとめました。リコーグループの環境活動を一人でも多くの方にご理解いただき、また、今後の活動の質と効果を高めていくためにも、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

株式会社リコー  
代表取締役社長

桜井正光

